

Tokuyama College		Year	2021		Course Title	Chinese Literature	
Course Information							
Course Code		0075		Course Category		General / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		Department of Computer Science and Electronic Engineering		Student Grade		4th	
Term		Second Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		講義担当者が参考資料を編集して用意					
Instructor		Tanimoto Keiji					
Course Objectives							
中国文学（古典）についての基本的な知識を得、日本文学とのかかわりを理解する。							
Rubric							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		上記到達目標に総合的に十分達している		上記到達目標に総合的に達している		上記到達目標に総合的に達していない	
評価項目2							
評価項目3							
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline		中国の文学とはどのようなものであるのかについての基礎的な理解を目標とします。古典を中心に解説し、日本文学とのかかわりについてもとりあげ、その違いについても解説します。授業内容を理解するために、予習復習を必ずしてください。					
Style		講義形式で行います。各講義（60～70分程度）の後に、授業のまとめとして、ノートの整理、講義のまとめを作成（30～40分程度）します。					
Notice		試験100%で評価する。					
Characteristics of Class / Division in Learning							
☐ Active Learning		☐ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced	
Course Plan							
			Theme		Goals		
2nd Semester r	3rd Quarter	1st	中国文学について		中国文学についての概説。「中国文学」として取り扱う範囲についての考察を行い、理解する。		
		2nd	漢字の特質		伝達媒体としての漢字の特質について概説し、文学表現への影響について考察を行い、理解する。		
		3rd	『論語』について		『論語』の文学性についての概説。その文学的性質について理解する。		
		4th	『詩経』について		『詩経』についての概説。文学の優劣基準についての原点を理解する。詩歌の形式上の進化発展の過程を理解する。		
		5th	『楚辞』について		『楚辞』についての概説。合わせて『莊子』の文学性についての概説。以上の二作に通底する「情」の発現を理解する。		
		6th	中国文学の二つの底流		論語－詩経、莊子－楚辞の二つの底流について理解する。		
		7th	中国文学と日本（1）		周南地域の近世漢詩文を取り上げて講義。身近にある漢文資料について知る。		
		8th	『史記』について（1）		史記についての概説。作者司馬遷の情的側面を理解する。		
	4th Quarter	9th	『史記』について（2）		史記 項羽本紀を読む		
		10th	『史記』について（3）		史記について、表現の知的側面についての概説。前講とあわせて、その文学性について理解する。		
		11th	唐詩概説		唐代の詩について、全般的な変遷を理解する。		
		12th	唐詩（李白）		李白の出自と生涯についての概説。李白の情的側面について理解する。また、李白の詩の特色について、表現としての知的側面を理解する。		
		13th	唐詩（杜甫）		杜甫の生涯についての概説。主としてその情的側面について理解する。杜甫の詩の表現面での変化を取り上げ、その知的側面についての考察を行って、詩人としての到達レベルを理解する。		
		14th	中国文学と日本（2）		周南地域の近世漢詩文を取り上げ、講義する。身近な漢文資料について、内容面から理解する。		
		15th	期末試験		前講までの範囲に関する試験を行う。60点以上が目標。		
		16th	答案返却など		試験の答案の返却、および解説		
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	0	60

專門的能力	10	0	0	0	0	0	10
分野横断的能力	30	0	0	0	0	0	30